

社会科（歴史的分野）学習指導案

1. 単元（題材）名 第2章 古代までの日本

1 節 文明の起こりと日本の成り立ち 1.世界の古代文明と宗教のおこり

2. 単元観

本単元は、人類の出現および進化の過程と約1万年前から6世紀までの我が国の成立過程を大陸との交流に着目させながらとらえることをねらいとしている。約400万年前にアフリカで誕生した人類は進化を継続し、生活する場を世界中に作った。地球が氷河期を終えると人類は文明を起し、国家を形成していった。我が国も縄文、弥生時代を経て各地域に邪馬台国のような小さな国が生まれた。その国々を統合し大和政権が誕生した。また、大陸との交流も行われており国家の基礎ができていった時期である。このように本単元で学習する内容は、我が国の古代から今に続く文化について理解させるとともに、今後の学習に興味・関心を持たせる上でも意義が大きいものであるといえる。

3. 研究とのかかわり

①本単元で習得させたい知識や概念について

- ア. 4大文明の地理的な共通点について、地形図や写真資料から適切な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して読み取る活動や、ワークシートにまとめる作業を通じて、基礎的な知識の定着を図る。
- イ. 文明の発展という概念について段階的に考えさせる。

②社会的な見方や考え方を活用した思考について

- ア. 世界各地で起こった文明の地理的共通点について考察している。
- イ. 農耕の発達により、人々の生活がどのように変わったのかを考察している。
- ウ. 文明の発達という歴史的事象を現代社会と比較して考えている。

③表現力を高める学習活動について

- ア. 個人の考えをグループ内での交流によって磨き、他者の意見に耳を傾けることにより深まりをもたせる。
- イ. 短時間の話し合い活動を何度か重ねることで意見交流を活発にし、発表の場を複数回設定することによって表現力の育成を図る。
- ウ. グループの発表を参考にしながら、個人に戻って考えをまとめる作業を通じて、文章表現力を身につける。

4. 単元の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・世界の古代文明や宗教が生まれたこと、また、日本列島で狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことを理解させる。 ・国家形成過程のあらましを、東アジアとの関わり、古墳の広まり、大和政権による統一を通して捉えさせる。 			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
古代文明や宗教の起こり、人々の生活のあらましに対する関心を高め、話し合い活動にも積極的に参加し、意欲的に学習している。	様々な資料から古代文明の特色をとらえると同時に、日本の社会に与えた影響について考察している。	古代文明や宗教の起こり、日本列島における人々の生活の変化、大和政権による統一などについて調べる際、様々な資料を活用している。	古代文明や宗教が生まれたこと、その時期の日本列島における生活の変化を理解している。

5. 単元の指導計画と評価規準

	学習内容	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
1	世界の古代文明と宗教の起こり① ・人類の出現と進化 ・新石器時代 ・文明の起こり ・宗教の起こり	人類進化の過程について意欲的に学習し、人々の生活のあらましについて関心を高める。			人類進化の過程についてその概略を捉えている。
2 本	世界の古代文明と宗教の起こり② ・文明の発展	古代文明についての話し合い活動に積極的に参加している。	古代文明についての段階的な課題を意欲的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		
3	【深めよう】 ヨーロッパの古代文明とイスラム教			様々な資料からギリシヤ・ローマの文化の特色を理解することができる	キリスト教とイスラム教の広がりによってその文化がヨーロッパに大きな影響を与えたことを理解している。
4	世界の古代文明と宗教の起こり	中国から伝わった文物に関心を持っている。			中国の古代文明について殷から漢まで大きな流れを理解している。
5	日本列島の誕生と縄文文化	様々な遺物や遺跡の発掘など、考古学の成果に関心を持っている。		様々な資料から日本列島で狩猟・採集の生活を行っていた人々の生活の特色についてとらえている。	
6	弥生文化と邪馬台国	様々な遺物、遺跡から、弥生時代の人々の生活に関心を持っている。	中国の文献から、国家が形成されていく過程について考察している。		
7	大王の時代	地域に残る古墳や渡来人に関する地名などに関心を持っている。		遺物・遺跡などの具体的な資料を通じて、古墳文化の特色をとらえている。	

6. 本時の学習

(1) 本時の目標

- ①古代文明についての話し合い活動に積極的に参加している。
- ②古代文明についての段階的な課題を意欲的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。

(2) 本時の評価

- ①B規準：古代文明についての話し合い活動に積極的に参加している。

<指導の手立て>

机間巡視をして活発に交流・話し合いが進んでいないグループがあれば、いくつかのキーワードやヒントを与えてグループでの交流・話し合いを促す。

- ②B規準：古代文明についての段階的な課題を意欲的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。

<指導の手立て>

机間巡視をしていくつかのキーワードやヒントを与えて適切にまとめられるよう促す。

(3) 本時の展開

段階	時間	学習活動	教師の指導・支援	学習評価
導入	5	○確認テスト ○課題の把握	□前時までの学習内容の確認 □課題の提示	
		4大文明の共通点から、文明について考えていこう。		
展開	3	○4大文明がどこで栄えたかを地図帳で確認しワークシートに記入	□写真資料の提示	
	2	○4大文明が栄えた地域の共通点を考え、ワークシートに記入	□難しい生徒への指導・助言	研究との関わり③-ア
	3	○グループ隊形にして、4大文明が栄えた地域の共通点を確認する。	□予想される解答 大河のほとり、比較的温暖である、北半球に多い、など	研究との関わり③-ア ③-イ 評価①観察
	3	○ホワイトボードを使用して、グループごとの意見を全体交流	□グループごとの意見を班ごとにホワイトボードに記入、発表指示	研究との関わり③-イ
	なぜ、4大文明は大河のほとりに発達したのか。			研究との関わり③-ア ③-イ
	3	○グループでの話し合い	□予想される解答 生活用水のため、農耕に使用、運搬に使用…	評価①観察
	3	○ホワイトボードを使用して、グループごとの意見を全体交流	□グループごとの意見を班ごとにホワイトボードに記入、発表指示	研究との関わり③-イ
	文明の発展によって、人々の生活はどのように変わったか。			研究との関わり③-ア ③-イ
終末	5	○グループでの話し合い	□予想される解答 定住生活、貧富の差、国ができる争いが起こる…	評価①観察
	5	○ホワイトボードを使用して、グループごとの意見を全体交流	□グループごとの意見を班ごとにホワイトボードに記入、発表指示	研究との関わり③-イ
	8	○本日の授業をまとめる	□文明の発達が生生活を豊かにすると同時に、貧富の差や争いにつながっていったことに気付く。	研究との関わり③-ウ 評価②WS
	5	○授業の感想	□現代社会にも通じることに気付く	研究との関わり③-ウ
	5	○感想の交流	□数名選出し、発表させることにより、授業を振り返り考えさせる。	評価②観察